

産業建設委員会 会議録

=====
日 時 平成30年11月2日（金曜日）
午前10時開会、午前10時30分閉会
場 所 第4委員会室

日 程

- 1 開 会
 - 2 委員長挨拶
 - 3 協議事項
土浦全国花火競技大会の中止について
 - 4 その他
 - 5 閉 会
-

出席委員（8名）

委員長	小坂	博
副委員長	勝田	達也
委 員	内田	卓男
委 員	竹内	裕
委 員	寺内	充
委 員	矢口	清
委 員	柴原伊一郎	
委 員	吉田千鶴子	

欠席委員（1名）

委 員	川原場明朝	
-----	-------	--

説明のため出席した者（2名）

都市産業部長	塚本	隆行
商工観光課長	皆藤	秀宏

事務局職員出席者 村瀬 潤一

傍聴者 なし

○小坂委員長 急な招集につき、お集まりいただき誠にありがとうございます。
只今から産業建設委員会を始めさせていただきますので、よろしく願いいたします。
それでは、これより協議事項に入ります。

始めに 第87回土浦全国花火競技大会の中止について説明を願います。

○皆藤商工観光課長 花火大会の事故報告について、今回で2回目でございます。

まず、始めに上の資料を見ていただきたいと思います。事故の経緯でございます。花火大会中ですね、導火線不良が原因と思われる不発玉の4号玉。風の影響を受け、保安区域外まで飛ばされ、地上開発したことにより、複数の観覧者にけが人が発生いたしました。事故発生場所につきましては、土浦市佐野子423-2ということで、ございません。場所については2枚目の位置図の三角のところとなります。事故の内容でございますが、当初負傷者については10名おられます。また、物損ということで、けがはなかったが、衣類が燃えてしまったということがございました。こちらの方たちにつきましては市の方で、謝罪に行かせていただきまして、けがの状況等、見させていただいております。皆さま、快方に向かっておりますということでございました。事故の発生者につきましては、前回の委員会でも申し上げた通りの、高木煙火でございます。打上順番19番スターメインでございます。後ろの写真のところでございますが、後ろに続いているので見ていただきたいのですが、それぞれ下の写真は上の写真を拡大したもので、ございます。最初の写真、小さい光の左側で開いている花火が、4号玉の万華鏡という花火です。本当であれば、これと同じものがこの右側に開く予定でございましたが、導火線の不良。こちらがあがったのですが、導火線の不良で開くはずが開かなかったというものでございます。次の写真をご覧ください。落ちた現場ですね。写真右下のところですが地上に落ちて開発しております。よくユーチューブ等では、横に飛んでいる映像等が流れていたかと思いますが、それは落ちたところの近くで、撮影した人が撮った映像が横に流れているように映ったということが考えられます。事故の原因につきましてはやはり、導火線の不良、燃焼の遅れ、また、割薬が点火せずに、風の影響を受けたかと思われるけれども、落下して地上で開発したというような状況でございます。下の方に参考といたしまして、スターメインの基準というものを載せておきましたけれども、うちの方では、スターメイン4号玉以下、400発以下ということで、実施しております。使用する筒は200本以下となっておりますので、筒の中には、1つの筒に2つ玉が入っているというようなこともございます。導火線というのは、筒に付けて運んできますので、その途中、揺れ等により外れたりすることも考えられ、また、湿気等の原因もあるのではないかというような話でございます。今の段階では、既にあがってしまったので、推測でしかお話しはできませんが、そういうことが考えられるという状況でございます。続きまして、今後の対応でございますけれども、今、お話しさせていただきましたが、事故原因について、関係機関等、高木煙火さんはもとより、茨城県内の花火師たちに花火の形について、色々とお話を伺って聞いたところ、風以外の原因も示唆されるというようなこともあったことから、今後も、調査を継続いたしまして、来年度以降の花火大会を安全対策の方に結び付けたいと思っておりますので、よろしく願いいたしま

す。続きまして、栈敷席を購入された方につきまして、うちの方にもメール等でお話しが来ております。返金というのでも随分きていますのですけれども、それにつきましては今回につきましては、返金できませんということで、ご理解をお願いしているということでございます。それに伴いまして、来年度以降、次回の花火大会に向けまして栈敷券を購入された皆さまに、何かしらの検討をしていこうと、今後、実行委員会の方で協議を重ねていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。説明は、以上でございます。

○小坂委員長 それでは、只今の説明につきまして、何かございますか。

○塚本都市産業部長 本日、お集りいただきましてありがとうございます。今、課長から説明させていただきましたが、茨城県の地区会の方から、写真や動画ですとか、そういったものを見て、現物がある訳ではないので、推測の域でのお話しですが、今、説明させていただきましたがけれども、割薬へ着火しなかったということで、あがったけれども、上空では開発はしなかったと。それが、風による影響ということで我々は推測できないのですが、4号玉があそこまで飛ぶのかというような疑問も残るので、もうちょっと調査が必要だということもいただいておりますので、その辺のところは、科学的検証ですとかそういったことも含めて、継続して調査していきたいと考えているところでございます。また、来週月曜日に定例記者会見がございまして、そこでもそういう話しになるかと思いますが、只今、皆さまに説明させていただいた内容で、プレスの方に、説明させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○小坂委員長 それでは、委員の方から質問をお願いします。

○吉田(千)委員 調査を継続ということなんですが、どこが、どのようにしてやるのか、その辺をお伺いします。

○皆藤商工観光課長 そちらにつきましては、部長からも説明がありましたように、茨城県の地区会、今花火師さんたちからのお話を伺っておりますけれども、科学的な検知からということで、つくば市内の産総研というところに連絡をさせていただきまして、そういう検査を、4号玉が、どのくらいの風で流されるのか、そういったものを科学的な検査をしていただけるのかについて、只今、アポをとらせているところでございます。

○吉田(千)委員 産総研での検査について協議をしていただいている状況かと思いますが、科学的な検知ということはやっぱり、具体的には分かるので、それは花火師さんたちにも、次への安心・安全な開発につながることでございますので、その辺はよく精査していただけて、進めていただきたいと思います。

○竹内委員 栈敷席とふるさと納税の関係だけど、土浦市で一番売れているのが、栈敷席とマラソンの出走権ですけれども、ふるさと納税でこれ買ってくれた人には、どういう対応をしていただけるのでしょうか。

○小坂委員長 何もないですよ。

○皆藤商工観光課長 返却しないということで。

○竹内委員 ふるさと納税で売れたんでしょ。どの位、何マス位売れたの。

○皆藤商工観光課長 すみません。現在、何マスなのか数の確認はできないんですが、

1件ですね、返却というお話があったようですけれども、それ以外にはそういうお話はなかったと認識しております。

○**竹内委員** 今後もあるからさ、地方からこれを目当てに、土浦市に納税してくれるのだから。よろしく対応して下さい。

○**勝田副委員長** 分からないので教えていただきたいのですが、今回の推測としては、上で爆発しないで、下で爆発したということですね。それで、風に煽られてあそこまで飛んで行ったということなんですが、風で運ばれるということではなくて、一般的に、下で爆発しちゃうということは、よくある話なのか。今までもあったことなのでしょうか。

○**塚本都市産業部長** いわゆる、上空で開発しなくて、下に落ちてくるのは、黒玉という言い方もしておりますが、下が柔らかければ、案外そのまま残っていることもございます。下が固いと火薬ですから、圧が掛かると爆発するというのがございますので、以前に、10号の黒玉がイオンの屋上で開発したことがありましたけれども、上空で開発しないで、屋上の駐車場で当たった時に、開発したというもので。あの時のように、上へ上がるための割薬に火が付いた訳ではないので、あれほどの迫力は、確か、なかったと思います。たまたま固いところとか、固い石などのところに当たってしまったとか、そういう衝撃ではなくて、点いてはいたけれども、徐々に下に行った辺りで点いたとか燃焼の遅れというのは、そういうことが考えられるのかなと花火師さんたちは思っていると思います。土手の下のところでぼこっと当たっている写真があると思いますが、それほど固くないのかなと今回は思いました。

○**勝田副委員長** そうしますと風向きは、色々注意すれば測れますけれども。実際には、玉の品質はよく分からないと思うので、今言ったようなことを、100パーセント防ぐということは、中々難しいのだろうなと思います。

○**塚本都市産業部長** 花火師さん、それなりに皆さん技術を持った方々なので…。

○**内田委員** 今まで、質問された市民からもう一回訂正しなければならないんだよ。4号玉が上がりました。中に入っているそれが落ちたんだよと説明してましたが、これ、4号玉がそもそもそのまま行っちゃったんでしょ。それとね、この写真よく撮ってくれたよね。大きな写真。上で開いている。それが、後ろに流れてますよね。これが風だよ。普通だったら、こう大きく開くんでしょ。それが向こうへ流れている。そういうことで、想像ですけども、プロでしたらどれだけの風が吹いたのかどうかある程度読めるだろうなと思うのと同時に、小さい星みたいなものが、向こうへ流れているという写真。産総研の話も出ておりましたが、110メートル以内だっけか。結局これ見ると。200メートル行ってるよね。倍近く飛んでいるってことですよ。これ。

○**皆藤商工観光課長** 予想範囲から、大体75メートルから80メートル位ですね。

○**内田委員** 大体200メートル地点だよ。産総研の方たちは頭いいからすぐに計算して答えが出てくるよね。

○**皆藤商工観光課長** 上がってどれ位の風速で、どれ位の重さのものが飛ぶのかというもの、これから、産総研の方にやってもらえるかどうかという話しは、あれですけど

も、今日来ていただいてまして、今日の段階での調査をやっていただけないかというようなお話をさせていただいております。

○内田委員 それと、4号玉がそのまま落っこちて、爆発したという結果なんだけれどよくこの位のけがで終わったよね。不思議だよ。運が良かったと思います。感想です。

○塚本都市産業部長 一番最後の写真を見ていただくとお分かりいただけますような写真に、花火の写真があるかと思うのですが、これだと多分、結構被害が大きかったのではないのでしょうか。今回の万華鏡といいますのは、全体に飛び散る形ではないということのも不幸中の幸いということだと思います。

○内田委員 この写真の光っているこれね、これも4号玉でしょう。スターメインというのは、最高が4号玉。

○塚本都市産業部長 4号玉です。

○内田委員 これは、中身の火薬が少なかったということなの。

○皆藤商工観光課長 丸いのは、圧を掛けて、周り全体にありますので、全体に固いんですよ。固くないと圧が掛からないので、広がらない。割薬と同じなので。こっちのは8つに分かれますので、周りもそれなりに柔らかく…。

○塚本都市産業部長 それで、不幸中の幸いということでもあります。花火師が言うにはもろに落ちたら、あの程度では済まないというお話でした。

○内田委員 今回は、よく勉強したな。

○寺内委員 やっぱり、実行委員会の中には、なるべく、スターメイン、10号玉は、打ち上げる時には、なるべく、また、同じことが起こる可能性が高いので、周りは、立ち入り禁止にした方が良いでしょう。

○内田委員 寺内議員がね、今お話しした、この落ちた場所は、土浦学園線が通っているんだよ。シャトルバスのUターンするところがなくて、ものすごい人なんだからね。その、落ちたところよりも手前なんだからね。ものすごい人だから。そういうことだったら、ここ止めて置けとは言えないよね。

○寺内委員 越えちゃったのか。

○内田委員 やり様がないのか。土浦学園線だから。シャトルバスが通るところだよ。ガンガン人を運んでいる訳だよ。それで、このバイパスの橋の下。橋の下辺りは、テキ屋がいっぱいいる。話にならないよ。

○矢口(清)委員 実行委員会においては、花火を上げる基準を決めた方が良いでしょうのかなと思います。

○竹内委員 10月21日に、茨城新聞の一番最後の方に、基準の見直しをするという文章になっているんだけど、まあ新しい基準を設けてね、花火師さんとうまくやっていただくように、よろしくをお願いします。

○矢口(清)委員 今回の打ち上げをするについて、無理をしてやったということはないですか。

○皆藤商工観光課長 そういうことは一切ございません。前日から天気を確認させていただきまして、その当日も、吹く風とかそういうものは、確認をさせていただいております。

ます。実施の内容、中身でも花火をやらなければならない、10メートル以上の風が吹きますとか、午前中の段階では、一切出ておりませんでした。また、午後4時頃に強風注意報も出ておりましたが、それは、夜遅くからというものでございました。夜遅くというものは、9時以降という話しでしたので、実行委員会としては、8時30分までに花火が終わるということでもございましたので、そこで、実施を決定したということで、ございます。

○**内田委員** 基本的に今回の事故は、10年後にまた事故が起きるかも知れませんが分からない。私たち、市民として、議員として、事故はあってはならないが、こういうことはあり得ると。自然というものは計り知れないものがある訳で、結果論として責任の何やら出てくる話だろうと思いますが、当然こういうことは、起こり得るという覚悟でもって対処してほしい。

○**矢口（清）委員** 今年枚数券を購入した方たちについては、次回の花火大会において何らかの対応を検討していただくようお願いしたい。

○**皆藤商工観光課長** そちらについては、実行委員会、市、市観光協会、会議所の3者が主催者団体となっておりますので、今後その辺に向けてどのようにまとめていくのか検討していきまして、何らかの対応をしてみたいと考えております。

○**小坂委員長** 今度、多分、実行委員会が開かれると思いますので、委員会のメンバーは、産業建設委員会がメンバーとなったということを確認しましたので、そちらの通知の方は、よろしくをお願いします。産業建設委員会からの意見としては、これは、私からの意見でもあるし、皆さまからの思いでもあると思うんですが、花火を止めるなんて言うことは言わないで、ずっとやって欲しいということで良いんですよね。当然、委員会としては、続けてほしいということで添えさせていただきます。以上です。

○**塚本都市産業部長** 先程、内田委員からありましたように、花火大会、屋外で行っているイベントでございます。ですので、天候を相手にしなければならないということがありますので、全ての事象に対応するマニュアルはまず、作れないと思っております。しかし、おっしゃっていただきましたように、何かあった時、そういうことに対応できるような体制というものを、今回を教訓にして、整えていきたいと。今まで、途中中断というのが、幸いにも無かったということで、その辺のところも少しあいていたという部分も運営上も大会本部にいてですね、突然色んなクレームが入ってきて、そちらに対応しなきゃいけない、しかし、中止の情報も集めなければいけないという苦慮したということが、教訓となっております。その辺の運営も含めて、永続的な花火大会ができるよう、来年に向けて努力してまいりますので、一つよろしく願いいたします。

○**小坂委員長** 他に何かありますか。

（なしとの声あり）

○**小坂委員長** ということで、この件に関しての委員会をこれで閉じさせていただきます。お疲れ様でした。